

潜入取材!!

住之江消防署24時!

住之江区民の安全と安心を守る住之江消防署の24時間に密着しました。



09:00 点呼・体操



その日勤務する隊員が整列し点呼、その後体操を行う。消防署の1日の始まりである。

09:10 使用前点検



消防車、救急車や災害現場で使う資器材の点検を行う。車両や資器材は現場で使うことができれば意味がないので、点検・確認は入念に。

09:20 幹部ミーティング



前日にあったこと、当日の予定、署員への伝達事項を共有する。ひと言も聞き漏らさない。

10:00 小隊訓練



小隊ごとの訓練。さまざまな状況を想定し、毎回内容を変えて行う。この日は高所での救助を想定している。

10:30 パトロール



管轄区域内を巡回し、火災予防のチラシを配布。

18:00 夜間訓練



夜間を想定しての訓練。災害はいつ起こるかわからない。

17:30 夕食準備



週に一度、若手消防士が夕食を作る。定番料理はカレー。

16:30 事務作業



消防士は屋外での作業がほとんど。しかし、報告書や許可申請など事務作業も多い。

14:00 合同訓練



複数の消防隊が合同で行う訓練。災害現場には多くの消防隊が集結する。災害を早く収めるには、消防隊同士がうまく連携して活動しなければならない。

19:00 夕食



「同じ釜の飯を食う」これでコミュニケーションを図り、チームの結束力を高めている。

20:00 トレーニング



過酷な災害現場でも負けないカラダを作るため、消防士は日々の体力づくりに余念がない。

21:00 自主訓練



この日は救命訓練。消防士はこの時間で自己のスキルアップに努めている。



22:00 ミーティング



訓練やその日あった現場活動の反省、次の災害に備えて勉強する。

09:00 勤務終了



24時間の勤務が終了し、次の日のチームと交代。お疲れさまでした。

07:00 清掃



庁舎や車両は任務を共にするいわば相棒。感謝の気持ちを込めて掃除する。

03:00 受付



1時間ごとに交代で受付勤務を行う。夜中であっても、来庁者や電話など24時間その対応を怠らない。受付は消防署の“顔”である。

23:00 仮眠



ここでしばらく仮眠時間。出勤に備え服を着たままベッドに入る。



私が取材しました!

～緊迫の火災現場に遭遇～

私たち区役所の取材班が住之江消防署で取材していたある日、実際の火災出動に遭遇した。場所は区内の住宅地。現場に到着した私たちが目のあたりにしたのは、消防隊の息もつかせぬ動きの速さ。消火ホースがスルスルっ…と幾重にも伸びたと思えば、瞬間に火勢は消し止められ、火元の住人も救助隊により無事保護されていた。

現場での活動を終えた消防士たちは黙々と、そして素早くホースや資器材を片付ける。次の現場に備えるために。

被害を少しでも小さく…現場にいる消防士たちすべての想いを強く感じた1日であった。



地域とともに…

区民を災害から守るのは 消防署だけではないっ!!

“自助・共助・近助”“地域の安全と安心は地域で守る”の心意気で活動してくださっている、とても頼もしい存在の方々です。



令和3年度住之江区女性防火クラブ技術発表会の様子



「住之江区女性防火クラブ」は平成3年6月に発足し、女性目線による家庭内の火災防止・災害による被害軽減、応急手当などを様々な活動を通じて普及啓発を行い、災害のない明るいまちづくりの推進に寄与しています。

大阪市各区にある女性防火クラブで唯一、消火や救急など災害時の活動に必要な技術を披露する「住之江区女性防火クラブ技術発表会」を毎年開催しており、今年度は11月12日にさわやかな秋晴れのもと、各地域のみなさまの活動の成果を発揮されていました。クラブ会員は約270名です。(令和3年11月現在)

また、地震や台風などの災害が発生した場合に備え、地域住民が共同し被害を防止・軽減・予防するため、自主防災活動の中核となる「住之江区地域防災リーダー」が各地域にいらっしゃいます。

地域の防災力を向上させるため、防災訓練にも積極的に参加されています。

“楽しさ&緊張感 両方をもって防災を!”

地域のみなさまと消防署と区役所が連携して、地域の安全と安心を守ります!



住之江区地域防災リーダー 防災訓練の様子

住之江消防署の消防車両

住之江消防署の消防車両をご紹介します!

NEW FACE! 大阪市消防局
大型水陸両用車(RW30)



がれきなど一般の消防車では走行できない悪路でも走行でき、池や川などの水の上でも航行できます。(令和4年4月運用開始)

スモールタンク車



800リットルの水を載せています。

はしご車



高さ40メートルまで伸びる! はしごの先から放水もできます。

大型ブローア車



煙、有毒ガス、熱等を素早く排除できます。

救助車



人命救助が主な任務!

化学車



水では消すことのできない火災で活躍。

救急車



病気やケガ人を病院へ運びます。

消防艇
(ゆめしま1号)



海や河川をとても速く進むことができ、人命を救助します!

住之江消防署長より区民の皆さまへ



住之江消防署 高畠 良彦署長

住之江消防署長の高畠でございます。

近い将来、大規模な自然災害の発生が懸念されている状況のなかでは、日頃からの「災害への備え(自助・近助の心構え)」が大変重要なものとなっております。

私も住之江消防署といたしましても、いつ何時この住之江区がこれらの災害の被害に遭うかも知れない…という危機感を持ちながら、区民の皆さま方が明るい未来に向け安心して暮らせる住之江区をめざしていく所存でございますので、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

これから、歳末を迎えるにあたり、空気が乾燥し、火気を取扱う機会もますます多くなってまいりますので、引き続き、ご家庭や地域での火災予防をお願いいたします。

問合せ先 住之江消防署 ☎6685-0119

この取組みがめざす 主なSDGs

SDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現をめざす世界共通の目標です。



【目標9】
産業と技術革新の基盤を作ろう



【目標11】
住み続けられるまちづくりを



【目標17】
パートナーシップで目標を達成しよう

みんなで続ける
「ありがとう」があふれるまち
住之江区をめざして

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS